

2025 年度

ネイチャーキャンプ

保護者様用ハンドブック



# 千葉 YMCA ネイチャーキャンプ ごあいさつ

この度は、千葉YMCAネイチャーキャンプへご参加いただき、誠にありがとうございます。

## 千葉 YMCA について

YMCA は、1844 年にロンドンで誕生し、現在では世界 120 の国と地域に広がり、様々な青少年活動を展開しています。日本では 1880 年（明治 13 年）に東京に YMCA が設立されました。千葉 YMCA は 1971 年（昭和 46 年）に設立され、以来、語学教育、健康教育、野外教育、国際交流活動などの事業を千葉県内で展開して参りました。

## YMCA キャンプの願い

YMCA のキャンプは、「精神、知性、身体、社会性」のバランスのとれた成長をもたらす力があることに着目し、研究と発展を重ねてきました。日本では 1920 年（大正 9 年）に初めて教育的意図をもったキャンプを実施して以来、100 年を越えて子どもたちの「限りなき成長」を願い、多くの子どもたちにかげがえのない体験を提供しています。

## 私たちが大切にしていること

永年の経験に基づき、体験の中で学びが深まるよう、以下のことを大切にキャンプを実施しています。

### 1. 小集団グループでの共同生活

- **キャンプでの“小社会”**：新しい仲間と出会い、大自然の中で力を合わせ、お互いを認め合い、一人ひとりが主役となる環境を作ります。
- **ボランティアリーダーの存在**：グループには、所定のトレーニングを積んだ大学生を中心とするボランティアリーダーがつき、24 時間行動を共にします。先生や親とは違う「お兄さん・お姉さん」との出会いは、YMCA キャンプの大きな魅力の一つです。

### 2. 生活そのものがプログラム

- スキー、レクリエーション、野外料理などのアクティビティと同様に、「食事・入浴・掃除・朝の集い」など、生活の一つひとつを成長の糧となる大切なプログラムと考えています。
- 楽しい生活の中に、ごく自然に成長の機会が用意されています。

### 3. 段階的かつ体系的な活動

- 年齢や興味に合わせて、自然の中で仲間と一緒に様々な活動に挑戦します。
- 日常とは違う楽しさや達成感を得ることは、生涯にわたるかけがえのない経験となります。

**安全管理について** 安全に十分に配慮をしながら、キャンプを実施して参ります。各ご家庭の皆様のご理解・ご協力をお願い致します。

一般財団法人 千葉 YMCA  
環境・野外教育研究所 所長  
山添 仰



## Y Camp 100 Stories

キャンプにまつわる100のYMCAストーリー

2020年に日本のYMCAキャンプは100年を迎えました。特設サイトを設けて「キャンプにまつわるYMCAストーリー」をご紹介します。



# 1. キャンプ実施要綱

キャンプ名	日程	宿泊場所	集合場所/時間	解散場所/時間	担当スタッフ
ネイチャー キャンプ	2/7(土) ~ 8(日)	千葉市少年自然の家 (宿泊棟) 0475-35-1131	流山おおたかの森駅 東武アーバンパーク ライン改札前集合 7:50 ※8:11 発乗車	流山おおたかの森駅 東武アーバンパーク ライン改札前解散 18:10	小林 和弘 (かずっち)
			千葉駅中央改札外 公園口通路付近 9時20分 ※9:39 発乗車	千葉駅中央改札外 公園口通路付近 16時30分	

## ◆集合時の提出物と確認事項について

### 【ご提出物】

- ① 常用薬のある方は、1回毎小分けにしてご提出ください。処方の仕方について受付のリーダーが確認を致します。塗り薬についても同様です。また日焼け止めや保湿クリーム等については、自己管理でも問題ございません。こちらでは活動前やお風呂後にお声掛けし、塗れないお子様にはお手伝いを致します。

### 【確認事項】

- ① 体調の確認
- ② お子様のご様子について（短時間の対応になります。ご了承ください。）

### 【流山おおたかの森駅 集合解散場所】

現場の混雑状況によっては、集合解散場所を動かす可能性もございます。



赤丸付近で15分前からYMCA引率職員・ボランティアリーダーが待機をしております。

### 【千葉駅 集合解散場所】



写真向かって左手が中央改札、右側に階段とエスカレーターがあります。

## 2. プログラム予定

	1 日目	2 日目
午前	オリエンテーション	クライミングウォール体験（前日次第） 昼食作り（とん汁）
午後	クラフト（木のペンダント） 施設探検 自由時間	野外炊飯お片付け & 自由時間 振返り 解散
夜	キャンプファイヤー（晴れ・曇り） 室内レクリエーション（雨天） or クライミングウォール体験（雨天）	

### 《プログラムについて》

- ・他団体との調整により、当初の予定からプログラムを変更しております。また当日の天候次第で雨天プログラムとなる場合もございますので、ご了承ください。

## 3. 事前電話について

キャンプ前にリーダーより最終確認のお電話をいたします。お子様の健康状態の確認、お子様の様子の確認を目的としております。

ご都合の合わない方は、担当ディレクターまでご連絡ください。ただし、別日程をご希望の場合は、事情によりご希望に添えない場合もございますこと、ご了承ください。

キャンプ名	日程	時間帯
ネイチャーキャンプ	2/5（木）	夕方～夜

※事前電話は順次行います。各ご家庭への電話がけに時間差が生じます。ご不在の場合には、何度かお電話をさせていただきます。電話に出れなかった場合は後ほどメールをお送りさせていただきます。

4. 持ち物 ※持ち物には全て名前を書いてください。

大きいかばんに入れるもの		
持ち物	数量	備考
着替え（下着、長袖、靴下）	日数分 +1 セット	お子様の体質に合わせてご用意ください。
パジャマ	1 着	寝る時だけ着用します。
トレーナー・長ズボン （綿生地推奨）	最低 1 着	野外炊飯時も使用します。
ウインドブレーカー、 ジャンパー	1	防寒着として使用（朝着用してきて大丈夫です）
タオル類	2～3 枚	お風呂用 1 枚・予備 1～2 枚
洗面用具	1 セット	歯ブラシセット（必須）・コップ（うがい用） シャンプー、リンス、ボディソープは施設にあります。
エコバック	1 セット	お風呂場への移動時に荷物をいれる用 ※夜の着替え（パジャマ・下着）を入れてご持参されても構いません。お風呂は夜プログラム後となります。
ビニール袋	適量	汚れた服などを入れる大きい袋。袋にお名前の記載をお願いします。
室内履き	1 足	施設内とクライミングウォールで使用。学校の上履き可。サンダルタイプ不可。
新聞紙	朝刊 1 回分	野外炊飯、外靴が濡れた場合などに使用します。
帽子	1 個	キャップ、ハット、ニット帽も可
雨具	1 着	レインコート・ウェア・ポンチョ等
筆記用具	—	鉛筆と消しゴムがあれば大丈夫です。
常用薬	必要分	必要な方はご用意ください。
懐中電灯	1 個	夜の移動時に使用します。
ハンカチ	日数分	
ティッシュ	日数分	適量
軍手	1 双	野外炊飯時に使用します。
お子様用しおり		色などをぬっていただいて構いません。
水筒		中身を入れてお持ちください。中身が無くなったら補充します。（ペットボトル不可）
マスク		緊急時に着用します。

《確認事項》

- ・貴重品（携帯電話、財布、時計、カメラ、携帯ゲーム等）は、お持ちにならないようお願いします。
- ・出発日（キャンプ1日目）の昼食（お弁当）は必要ありません。
- ・おやつを持ち込みは出来ません。

## 5. グループについて

YMCA キャンプの基本は、少人数でのグループ生活にあります。4〜7名で1つのグループを作り、担当のリーダーと一緒に生活をします。その中でお互いの存在を認め合い、自分の役割を見つけていきます。いろいろな人と関わって欲しいという願いから、兄弟姉妹や友人同士は別のグループとなりますが人数によって例外もございます。キャンプ期間中、寝食を共にするのがこの生活グループです。グループ発表についてはキャンプ前に送付する「お子様用しおり」をご覧ください。

## 6. 指導者について

指導者は、YMCA 職員（ディレクター）とボランティアリーダーです。

### <ボランティアリーダーとは>

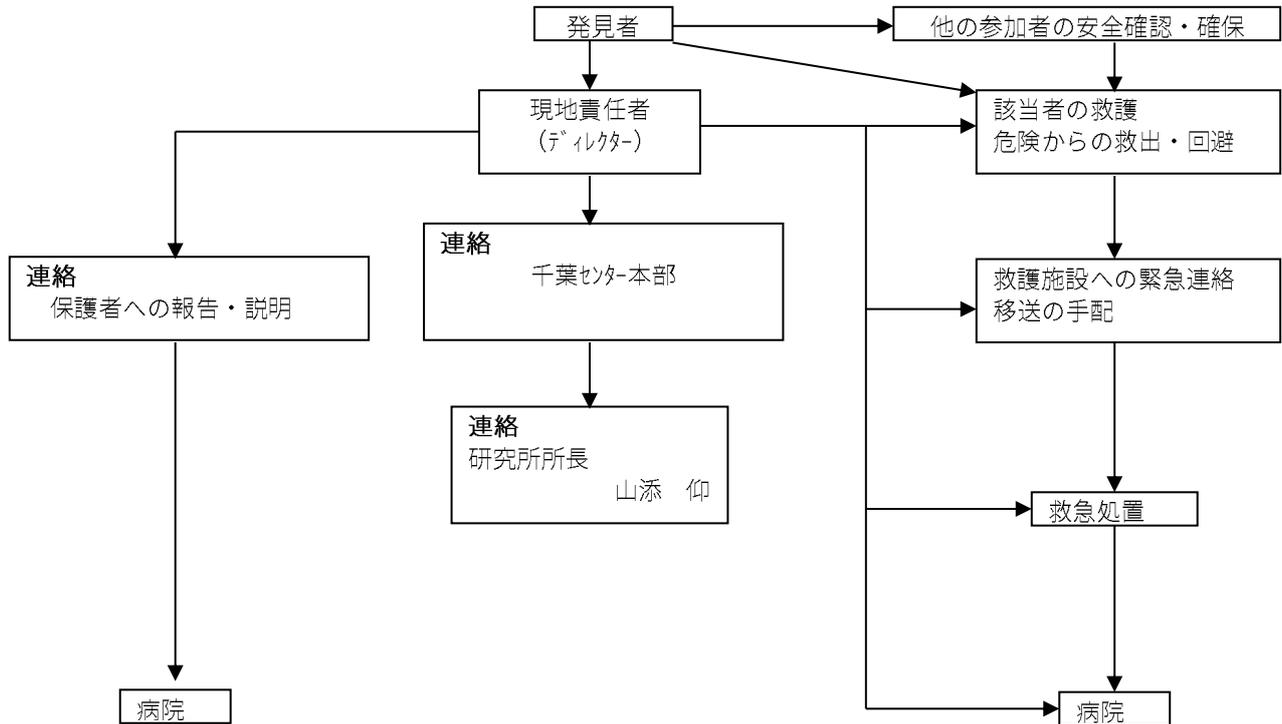
キャンプディレクターの面接を経て、事前に野外活動実技トレーニング、キャンプの安全や子ども理解などの座学トレーニングを受けた後、キャンプ毎に準備会を持ってキャンプ当日に備えています。リーダーはキャンプ中お子様と一緒に、プログラムだけでなく、寝食を共にし、参加をする子どもたちの身近な存在としてあらゆる場面で子どもたちの成長に喜びを持って関わっています。YMCA のプログラムではお子様だけでなく、リーダー自身も共に成長をしていきます。リーダーは、大学生や社会人、及びジュニアリーダー（高校生）で構成されています。

## 7. 保護者の皆様へ（必ずお読みください）

1. キャンプ間際の病気やケガは、必ず完治した状態、もしくは医師の許可を得てからご参加ください。
2. 安全には十分注意を払っておりますが、万が一、事故が起きた場合には、現地責任者（ディレクター）より直接ご家庭までご連絡をいたします。
3. ご家庭からの緊急連絡は、現地責任者（ディレクター）の携帯電話までお願いします。プログラムの進行状況によっては、すぐに対応できない場合があることをご了承ください。宿泊施設への電話は、個人情報保護のためお取次ぎができません
4. キャンプ期間中に病気や怪我が発生した場合、医師の判断によってキャンプ地までお迎えに来ていただくことがあります。また、キャンプ期間中の受診にかかった費用は、実費ご負担いただきますのでご了承ください。
5. YMCA は団体として傷害保険に加入しております。ケガなどには傷害保険から入院・通院のための費用が補填されます。ただし治療費が保険支払額を超える場合については、各ご家庭でご負担いただきます。（病気の場合は傷害保険の適用はされません。）傷害保険は、自宅を出てから自宅に戻るまでが対象となります。
6. キャンプ中に撮影した写真を、ブログ更新用、広報用（広報チラシ・ホームページ・SNS 等）に使用させていただく場合がございます。お子様の写真使用に関して不都合のある方は、お手数ですが担当ディレクターまでお申し出ください。

## 10. 緊急時連絡ルート

YMCA では緊急事態に備え、ディレクター・スタッフ一同、細心の注意を払っておりますが、万が一の場合に、以下のような緊急体制をとっています。



### <災害等緊急時の連絡方法について> ※災害等緊急時のみ実施

災害等により緊急事態が発生した際には、その場所が最も安全であると判断した場合には現地に留まり、常時状況を確認の上、必要と判断した場合にはプログラム地から最寄りの指定避難場所等、より安全が確保されている場所へ移動いたします。あわせて、状況に応じて本部より人員を派遣し、キャンプ全体が安全に戻って来られるようにするなど、最大限の取り組みを致します。

また、保護者の皆様へ現地状況等の連絡について以下の方法を適宜実施致します。

- ① キャンプブログにて状況報告
- ② 本部より連絡 : 043-222-3811
- ③ 現地ディレクター携帯電話より連絡
- ④ NTT東日本災害用伝言ダイヤル

ご利用の流れ: 「171」 → 「2」 → 「宿泊施設電話番号」入力

※ガイダンスに従い入力して頂きますとメッセージが流れます。

キャンプ名	ディレクター	電話番号
ネイチャーキャンプ	小林和弘	070-4453-1740

## 一般財団法人 千葉 YMCA

### 千葉センター

〒260-0015

千葉市中央区富士見 2-5-15 塚本第3ビル 7階

TEL 043-222-3811

### 船橋地域デポ

〒273-0865

船橋市夏見 6-6-6

TEL 047-425-6366